

## 第6部 きのこの部

### (2) えのきたけ 《 審査日:令和3年10月12日 》

#### ①審査所見

今回の出品点数は昨年より10点少ない119点でしたが茶系品種も3点出品されました。今回の出品点数は平成30年より4点多い123点でしたが茶系品種も1点出品されました。本選では予選を勝ち抜いた51点について審査しました。高品質のえのきたけが数多く出品されましたことに敬意を表します。

審査は、傘及び柄の形状や揃い、色、側枝の伸び、株の硬さやボリューム感、日持ち性、市場性等を評価し、総合的に優れているものを入賞に選定しました。特に、消費者の安全・安心に対する意識の高まりもあり、異物混入や病害に関しては厳しく審査を行いました。

ボリューム感や品質に優れるきのこが数多く出品され、栽培技術の高さを物語るものでしたが、一部に傘の黄変、陥没や株元の褐変などがあり惜しくも入賞を逃したものがありました。今後とも、高品質で安全・安心なきこの生産に努めていただきますようお願いいたします。

#### ②入賞者名簿

##### えのきたけ

区 分	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	有限会社マルヨ	中野市
林野庁長官賞	池田 雅彦	中野市
長野県知事賞	農事組合法人 あさひ生産組合	中野市
信州きこの祭り推進協議会長賞	長谷 純男	長和町
長野県農業協同組合中央会長賞	松島 伸行	飯田市
全国農業協同組合連合会長長野県本部長賞	中山 喜正	中野市
(一社)長野県原種センター理事長賞	山口 正信	中野市
(一社)長野県農村工業研究所理事長賞	滝澤 範夫	飯山市